# 東京東村山ロータリークラブ





## 国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は あなたの手の中に





Vol.43 第2126回例会

2010.6.3

# 今年度会長テーマ

# 「誠心誠意、和をもって」"事にあたろう"

**■**司会: 石山例会運営委員



会長報告

山本次年度会長



■点鐘:山本次年度会長

■国歌:「君が代」 ■合唱:ロータリーソング

「奉仕の理想 |

◆ソングリーダー:

土田会員



■お客様紹介: 野澤パスト会長



**◆**ゲスト: 地区世界社会奉仕委員長 鯉江園子様 地区世界社会奉仕委員 藤野豊様



- 1.多摩分区指導者育成セミナー 5月29日(土)地区研修委員会地区研修リーダー 戸田一誠の講習
  - ①講演者のいけない行動 話の途中で「えへん | 「あのー | が多い
  - ②良くない参加者~相手の事を考えない発言 自分の事しか言わない、話が長い
- 2.シェルターBOXの件

国際的な緊急災害時早急に対処する為に考案さ れた。2001年インドのグラジャー州の地震に143 個が使用された。ボックス1個で10人の人間が 半年間生活でき1個約6万円。シェルターはイギ リス本部のみで取り扱っているので、日本支部 を作れないか検討中。

3.地区危機管理委員会設置の背景 櫻井パストガバナー 20年以上前にRI役員、RI本部、ロータリアン にまで性的虐待、ハラスメントの問題が起きて いました。また、青少年交換の女子学生が性的 虐待を受けたとして、RIを相手として訴訟を 起こし数千万円支払った。このような事故に対 応するために、保険を掛ける事になり、人頭分 担金100円負担。

4. 分区連絡会実施の件

6月1日パレスホテル立川において実施され安部 ガバナー補佐2010~2011年度方針はCatch up to90!

- ■例会日/毎週木曜日 12:30~13:30
- ■例会場/八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

- ■クラブ管理委員会/中丸 繁男 野村 高章
- ■事務所/〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101 TEL 042-393-7500

これは出席率90%を目指そう!!です。

5.多摩分区インターシティミーティング予定 2010年10月26日(火)予定願います。 講演者は山本譲司さんで、フォーラム形式でテーマは「出席率向上への取組」

# ■幹事報告

高橋幹事



杦山会長昨日(6月2日)退院しました。

## ■バギオ基金:

バギオ基金第2回評議員会(5/17開催)の議事録 の受理

### ■ガバナー事務所:

- ・「規定審議会報告会」会場変更のお知らせ 6月3日(木) 15:00~17:00 京王プラザホテル 南館4F[錦」→本館42F[富士]
- ・口蹄疫被害救済支援金のお願いについて 1人500~1000円 メ切:6月30日 (参考:特別会費5月末残高18400円) (仮)@500×37名=18500
- ■フレッシュ! 久米川楽市: イベントパンフレットの受理について 3月28日(日) 久米川駅北口「フレッシュ! 久米川 楽市」パンフレットとお礼

#### ■例会変更:

東京ベイRC 6月24日(木)→夜間移動例会 東京秋川RC 6月24日(木)→最終夜間例会 於 幸楽園

## ■回覧:

「友」インターネット速報 No.430 武蔵野女子学院 ニュースレター

# ■出席報告

小町例会運営委員



在籍会員数	出 席	免 除	欠 席	出席率
37	29	2	6	82.86

■前々回メークアップ修正後前々会欠席:4名 ■前々回出席率メークアップ修正後:88.24%

■前々会メークアップ者:

赤木会員:理事会 飯田会員:理事会 金子会員:所沢中央RC

町田会員:東京青梅RC嶋田会員:所沢中央RC

土田会員:大阪

## ■ニコニコBOX

高橋クラブ管理委員



■ご結婚祝月: 野村会員



■会員誕生祝月: 野崎会員、戸澤会員 飯田会員



■令夫人誕生祝月: 飯田会員、田中会員



◆藤野様:久し振りにお邪魔しました。鯉江委

員長の卓話楽しみにしています。

◆野澤会員:鯉江さん、藤野さん東村山へようこ そ。楽しいお話を期待しています。

◆山本会員:鯉江地区世界社会奉仕委員長、本日

の卓話よろしくお願い致します。藤 野パスト会長ようこそいらっしゃい ました。昼間の太陽の下でお会いす

るのは久し振りですね。

◆高橋幹事:国際奉仕委員長の鯉江様、本日は卓

話ありがとうございます。藤野様ありがとうございます。会員の皆様、 枚山会長は昨日6/2退院しました。

ご安心ください。

◆神﨑会員:地区国際奉仕委員長鯉江様、遠路あ

りがとうございます。又、私事です が役員達の入院で大好きな会に出席

できず残念です。

◆野村会員:鯉江さん、藤野さん、本日は卓話ご

苦労様です。

本日のニコニコ合計: 34,000円 累 計:1,296,680円

# ■委員長報告

■小町次年度クラブ奉仕 委員長



#### 引継ぎ委員会開催の案内

- クラブ奉仕部門(クラブ奉仕・例会運営・プログラム・クラブ管理・会員増強・会員研修)の各委員長は、6月9日(水) 19:00 板前料理「かんころ」会費4,400円
- 三大奉仕部門(職業奉仕・社会奉仕・青少年奉仕・ 国際奉仕・青少年交換・R財団・米山奨学)の 各委員長は、6月10日(木) 19:00 板前料理「か んころ」会費4,400円
- ■野澤地区青少年交換委員



委員最後の仕事として、第47期の青少年交換派遣 選考試験を終了しました。25名の応募者があり男 子15名・女子10名 危機管理委員会の指針を踏ま えて学生を預かるのが得策。

### ■神﨑地区対人地雷の除去に関する特別委員

6月1日(火)ハイアットリージェンシー東京B1センチュリールームにて、「カンボジア クリアランドプロジェクト完遂記念」感謝の夕べに野村会員と行って参りました。10年前ガバナー直属の地区対人地雷の除去に関する特別委員が発足し、その時地区WCSの委員であった私が大反対した覚えがあります。形態を変えてスタートした時は、納得し、地区委員としてやって参りました。今月一杯で終わります。又、この所例会を欠席させて貰っておりますが、専務・常務の入院で会社をどうしても抜け出せなくなりました。

# ■卓話

■卓話者紹介: 嶋田パスト会長



■卓話者:鯉江園子様



## 世界社会奉仕(WCS)活動について

### ■国際奉仕が目指すもの

四大奉仕の一つである国際奉仕とは、「ロータリアンが国際理解、親善、平和を推進するために実施できるすべてのこと」とあります。国家・思想を宗教などの価値観が違った複雑な世界を、ロータリアンのfellowshipに基づいた相互理解で恒久的な世界平和を目指すものです。それを推進するのな世界平和を目指すものです。それを推進するのな世界ではあります。世界社会奉仕は「WCS(World Community Service)」と呼ばれ、「人道的なプロジェクトを地球レベルで行う・地元社会の枠を超えたプロジェクトに取り組む・他国のータリアンとの絆を深める」などが可能になります。

### ■WCSの歴史

1929年ダラス大会の条例【決議29-12】に「いかなる加盟クラブもRI理事会の承認を得るまでは財政援助を求めてはならない。」という金銭的な援助を制限する条例がありました。しかし、1962~63年RI会長のニッティシC・ラハリー氏(インド)によって発展途上国を援助するプロジェクトが開始されます。ラハリー氏は「世界のどこかの

片隅に、一人でも不幸な人がいる限り、我々ロータリアンは幸せになることは出来ない」と述べました。1966年にこの制限条項が解除されたことで、1968年から具体的な世界社会奉仕活動が始まります。この規約改正は後のロータリー活動にとって、

- ①全世界のロータリアンからの財政援助が加わる ことで技術供与やマンパワーの提供だけでは足 りない大規模なWCS活動の実現が可能となった。
- ②資金援助の行為がロータリーの奉仕活動として 認められるという前例を作った。という2点の 大きな意味を持つことになります。また、Community は地域社会・利害や職業・宗教・国籍などを同 じくする社会や集団だったのですが、地球全体 が一つのCommunityであると概念が変わり、世 界社会奉仕「World Community Service(WCS と呼称)」が生れました。
- ■2580地区 WCS活動の状況(2008~2009年度調査) 相手国RCと一緒に行った活動は、
- ①消防車・ゴミ収集車寄贈(東京江戸川RC) タイ・フィリピン
- ②浄水器寄贈(東京ベイRC) タイ
- ③小学校に浄水濾過装置寄贈(東京王子RC) 台湾
- ④シューズバンク(東京練馬中央RC) フィリピン
- ⑤中古救急車寄贈(東京江戸川中央RC) パキスタン

などです。また、相手国RCとではなく独自に行った活動は、

- ①ベトナム子供基金(東京西北RC)
- ②カンボジア学校建設(東京葛飾東RC)
- ③ボルネオ・カリマンタン植林(東京新宿RC)
- ④ラオス識字教育(東京四谷RC)
- ⑤カンボジア日本語学校(東京浅草中央RC) などが挙げられます。
- ■未来の夢計画(試験段階:パイロット)

現在ロータリー財団は世界100地区で、3年の試験期間を経て「未来の夢計画」という新しい制度を実施しようとしています。次年度から新補助金制度が導入されます。

#### ■ラオスの教育支援

四谷RCと私個人で行っているラオスでのWCS 活動についてご紹介します。ラオスは、東南アジ アのインドシナ北東部に位置する社会主義共和国 です。中国・ベトナム・カンボジア・タイ・ミャ ンマーの5つの国に囲まれた内陸国で、南北の距 離は約1,000 km、東西は最も幅のある所で500km、 面積は日本の本州とほぼ同じ236.800平方kmです。 国土全体が険しい山地と高原が連なり、その間を メコン川とその支流がカンボジアへ流れています。 ベトナムとの国境付近では現在も村人が地雷の被 害を受けています。5歳以下の子どもの死亡率が 高い原因は、栄養不足で基礎体力の低下で下痢・ マラリヤ・デング熱などにかかり、医者や病院・ 薬が不足しているからです。公衆衛生の概念は乏 しく学校にトイレはありません。気候は熱帯性な ので季節風の影響を受け、5~10月が雨季、11~4

月が乾季です。タイと同じく国民のほとんどが仏 教徒(小乗仏教)で、僧侶は尊敬されています。 ラ オス社会主義革命指導者の一人である故プーミー・ ボンビチット氏が健在の時、同じ革命家で懇意に していたベトナムの故ホー・チミン氏に「インド シナの開放は日本のおかげだ」と語っていたよう です。ラオスは戦後、日本に対する賠償請求権を いち早く放棄しました。ヴィエンチャンの歴史博 物館では、ラオスと日本の友好の歴史が展示して あります。近年日本のODAによる橋や道路、ダ ム建設によって発展してきました。ラオス政府は 自国の貧困について2001年6月 国家貧困撲滅計画 の形成にかかる」文書で次のように発表しています。 「貧困とは①食料の不足(1人1日2100カロリー以下) ②衣服の不足、③定住する家の不足、④病気の治 療費の不足、⑤教育費用の不足の5つが挙げられる。 該当する村の全世帯の51%以上が貧困世帯で、群 において40%以上の村に①学校がない、②道路が ない、③清潔な水がない、④保健所か薬局がない。」 このことからも厳しい現実がわかります。 支援の経緯は、2002年に当地区WCS委員会がシー

ブンフアン村に小学校校舎を寄贈する活動に参加 しました。2003年、翌年に予定している東京四谷 RCの20周年記念事業(国際奉仕部門)でラオスに 小学校を寄贈することが決定し、中途で未完成だっ たノンボン村小学校(6教室)を予算約120万円で寄 贈しました。会員と共に現地に赴き式典へ参加し 子どもたちへ教科書や文具、地球儀などを贈りま した。日本から持っていった新潟県の小学生の習 字と絵画の作品も贈りました。校長先生に、「校 舎以外は自助努力で学校を運営する・学校をきれ いに使う・就学率を上げる・勉学に励む」という 事柄を約束させて村を後にしました。翌年に各学 校を訪ね、ノンボン村では絵画の授業を行いまし た。校庭に池が作られ校舎はきれいでした。先生 方が村をまわり「子どもを学校に通わせるように」 と説得したので、生徒数は170名(男99女71)で5% 増えていました。教室には寄贈時に持っていった 日本の小学生の絵画と習字が壁に貼られていて、 その隣にはラオスの子どもが真似て描いた絵が貼っ てありました。素直で明るく伸び伸びとした人懐っ こい気質で、楽しそうに絵を描いていました。生 徒に教科書を渡しても親が市場に売ってしまいま す。校舎を作り生徒が集まったものの、学校では 教科書の不足と教師に教育スキルがないことから、 適切な授業が行われていなかったことがわかりま した。また、現在のラオスでは隣国タイ語を話す 人が増え、母国語のラオス語を読み書き話せない 子どもが多くなっていて、ラオス語の消滅が危惧 されていました。せめて学校に図書があれば本を 使った教育ができるのではないかと考え、地区・ 四谷RC・個人が建てた3つの小学校の教育フォロー を行いました。鍵のかかる図書箱(本200冊入り) を各校2個ずつ贈り、郡の教育省から先生を呼び、 本の管理方法と読み聞かせの授業プログラムなど を学ぶ教員教育セミナーを開催しました。

ラオスは北の山岳地域・中央・南の高地・平地と、 その地域によって民族や職業、貧困度も違います。 ラオス国家統計センターが世界銀行等と協力して 実施した家計調査によると、首都ヴィエンチャン の消費率は、他の地域に比べ特出して高くなって います。

北のパクライ、サイニャブリの山岳地域は南の民族より原始的な生活で、焼き畑農業で自給自足をしています。学校に行くには険しい地形と治安の問題で移動は安易ではありません。泥と穴だらけの悪路を10時間以上走って到着する僻地です。

郡の教育省はこの地域の子どもを学校に行かせようとしていますが、遠くの村から通えないので寄宿舎が必要になります。現在ある寄宿舎は壊れた海の家よりまだひどいものでしたので、私は学生寮を寄贈することにしました。今年2回目の式典に行きました。

### ■女性の識字率と今後のWCS活動

識字率が上がると寿命が延び収入も上がります。 しかし、乳幼児の死亡率や出産率、就学率と大き く関係するのは女性の識字率です。今後は、幼稚 園や保育所などを作り、女性の識字率と情報収集 の向上を目指すWCS活動としていきたいと考え ています。日本は社会福祉や専門の機関が完備さ れていて行政や専門機関の手の行き届かない奉仕 活動は少なく、物で溢れる日本が「豊かな国」だと すれば、ラオスは「貧しい国」です。しかし、私が 知る限り、平均寿命50歳のラオスの人達は、日本 人より毎日を明るく淡々と生きているようにも見 えます。WCS活動を通して、物を与えるだけが 支援ではない、共に生命の鼓動に調和していくよ うな関係性の中にこそ「奉仕活動」があるのだと気 付きました。「支援する側・される側」という一方 向のものではなく、相互に与え・貰うものがあっ て、どちらも充足している関係が理想です。5つ の国に囲まれたこれからのラオスは、とりわけ中 国の影響が大きくなっていくと考えられます。何 かを手にすることで失うものがあるということ、 人間にとって「豊さ」とは何なのか、そんな流動的 な世界とどのように関わっていくかが、今後の私 のWCS活動におけるテーマです。国際奉仕活動 の実践から、多くのものを学ぶことができた幸せ を実感しています。

## ■第12回(6月度)理事・役員会

■5月度収支明細報告:承認されました。

#### ■その他:

- ① 林山会長の例会「出席免除」扱とする → 承認されました。
- ②「心の東京革命」賛助金1万円 →承認されました。
- ③退会者の件 溝井会員~リハビリに励む 吉川会員~父親・奥様介護 →承認されました。
- ④細渕名誉会員継続の件 木下パスト会長に承諾をもらってもらう →承認されました。
- ⑤マイ箸の件 例会の昼食に使用する →承認されました。
- ⑥次年度青少年交換委員会より ホストファミリーの件 理事会メンバーへ協力依頼 →承認されました。
- ⑦「入りて学び 出でて奉仕せよ」看板設置の件 →承認されました。
- ⑧口蹄疫被害者救済支援金のお願い 約3万円にして寄付する→承認されました。

■点鐘:山本次年度会長